

AOU ニュース

愛されるゲーム場・親しまれる業界

エーオーユー
AOU ニュース 12月号
発行人 社団法人全日本アミューズメント
施設営業者協会連合会
〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1-4-1
TSI須田町ビル6F
TEL. 03(3253)5671~2 FAX. 03(3253)5688
http://www.nekonet.ne.jp/AOU/
Eメール aou@nekonet.ne.jp
編集人 AOU広報委員会
発行日 平成11年12月15日

第37回 理事会

AOUは11月26日、第37回理事会を開催(正午3時、AOU事務局会議室、出席8名、事務局1名)。今年度上半期の事業報告と下半期の活動について協議した。主な議題・報告事項は次の通り。

◎加藤理事の辞任について

◎平成11年度事業の推進状況について

◎当面の主な行事予定について
(第11回通常総会の開催予定を平成12年5月19日(金)とした)

◎AOU2000エキスポの開催骨子と作業の進捗状況について

◎新ロゴマーク、シンボルマークの制定作業について

◎AOUホームページの開設について

◎インターネットの活用方策について

◎賛助会員5社の入会承認(有)ハーテック、(株)タイガー娯楽、大長商事(株)、(株)ファースト・ロック、(有)アメデオ

ゲームがつくる笑顔や感動……

第5回「ゲームの日」。各地でイベント開催

11月23日(勤労感謝の日)の「ゲームの日」に合わせ、例年通りAOUでは来場者アンケート



ト調査の実施に加え、各店舗や団体にファン感謝イベントや社会貢献のための「アミューズメント・ラブ・エイド」を呼びかけたが、第5回目を数えた今年度は「ゲームの日」も定着した形で、各協会・協議会のイベントがより充実した内容で開催された(詳細は4~5ページ)。

「アミューズメント・ラブ・エイド」は、普段ゲームセンターとはあまり馴染みのない方々

▼イメージキャラクター「Z-1」も東京会場に参加。



参加者等の声ピックアップ

- 施設の子供達からの感謝の手紙【大分】
「ぼくはこの一日をバネにしてこれからがんばっていきたくです」(中2、男性)
「とっても楽しかったです。ぼくはには聞いたことのないカレーハンバーグで食べた。食べてみると、とってもおいしかったです。(略)とってもよかったです。ぼくはとてもしい思い出ができました。アミューズメント協会の皆様も体に気をつけてがんばってください。ぼくも、部活や勉強をがんばります」(中1、男性)
- 高齢者の会場でコメント【広島】
「ゲームセンターの中にこんな面白いものがあるとは知らなかった。この体験が若い人と共通の話題になるかも知れない」(80歳、女性)
「子供の行く場所と思っていたが、案外面白いもんじゃねえ」(77歳、女性)
「子供が来るとして対象にした会場で声【神奈川】
- 障害者とその家族を対象にした会場で声【神奈川】
「こんな面白い事なかなか無いんじゃないかな、あの子達にとって……。盛り上がりたね」(職員)
「俺もちょっと悪いんだけど、やっぱりダウンの子を連れていって他人の目気にするのよね。そりゃ可愛い我が子だもん。ゲーセン入ってみたいけど、怖いよね。良いね、こういう企画は。他人気にせず思いつきでできるじゃん。感謝してます」(ダウン症の娘の父)
「子供が行きたいって行っても、『絶対ダメ』って言う。ゲームセンターに入ったら子供が行きたいって行っても、『絶対ダメ』って言う。今まで。保護を受けていると、100円、200円が貴重になってくるから。(略)景品2つ取れたから土産ができて良かった。やっぱり、やったことあるのじゃないの学校でも話が合わないから。とても良かったよ」(右足麻痺50代の男性)



に楽しい一時を提供しようとして3年前からスタートしたもの。今年も大好評で、別記の通り、参加者からは様々な感動・感謝の声が聞かれた。参加者だけでなく福祉関係者もゲームの魅力を感じて認識した一幕もあり、例えば神奈川のイベントの舞台となった横浜ラポール関係者は「いつもは、うつむき加減で上

った村山会長によると、重度障害者も含め95%が日頃家庭用ゲーム機で遊んでいるとのこと。ゲームがつくる笑顔は、子供も大人も、高齢者も障害者も、みんな一緒。遊びニーズは共通して誰もが強く持っているのだ。

警察庁生活環境課長に

佐藤 正夫氏

十一月十四日付の警察庁の人事異動で、同庁生活安全局生活環境課長に佐藤正夫氏(前関東管区警察局長保安部長)が就任されました。

店舗管理者研修会

埼玉県

日時/11月10日(水) 午後1時

11日(木) 正午

場所/国民年金総合健康センター
・春日部エミナース
参加者/23社46名(うち受講者39名)

【第1日目】

関東地区協議会の大野圭一会長の開講の辞の後、「風営適正化法とゲームセンター」「8号営業管理者の守るべき役割」(講師 埼玉県警察本部生活安全課・岡部和幸氏)について講習。午後2時から「アミューズメント施設運営について」(講師 ㈱シグマ営業企画部教育グループ・グループマネージャー 伊藤眞氏)と題し、店舗運営について講義が行われた後、6つのグループに分かれてフリーディスカッションの時間がとられた。

続いて4時30分より約1時間、メーカーからの新製品説明会。7時から夕食・懇親会(千葉県の中嶋会長が挨拶)。その後、参加者は各部屋に分かれたが、深夜遅くまで熱心な話し合いが続いた。

【第2日目】

午前9時より、昨日の6つの

グループでの自由討議。「これからのゲームセンターのあるべき道、将来」をテーマとし活発な意見交換がなされた。

10時からは落語家の三遊亭円遊師匠が「真打になるまでの修業時代」と題し、苦学した修業時代を踏まえながら、接客業のあるべき姿、お客様をもてなす心得などをアミューズメント業界におきかえ、川柳や格言、小話を交えつつ興味深く語った。

以上ですべての講義が終了。グループ討議の内容を基にしたレポートを提出した後、大野会長が修了証書授与、AOU入江会長が閉講の挨拶を行った。

なお、提出されたレポートによれば、多くの参加者が「同業者と交流し意見交換ができる機会が持てたのは貴重な体験」としており、「ハッとさせられた事、おろそかにしていた部分を確認することができた」と研修会の成果を語っている。また、「8号専用のゲーム機の開発を」「テーマを持った専門店のようにな店舗づくりを」「未知の世界をつくりあげるため、AMとは全く違ったものを取り入れる必要がある」など真摯な意見が数多く出されている。

【第9回】 会長インタビュー

アミューズメントは「喜びを与える」商売。
人間同士の対話を大切に、
ゆつくり安価に遊べるような方向に。

「テレビ県民堂」(SBCテレビにて10月17日放映)に青少年育成関係者と一緒に出演されて、最近の青少年の特質や健全育成に関してお話しされてましたよね。そのなかで、「子供に尊敬されるように」と話されていたことが印象に残りました。

井出 子供は大人を写す鏡だといふことはよく言われることです。要するに青少年問題は大人社会の反映。我々ゲームセンターの人間も、青少年を扱うビジネスとして現場のスタッフには相應の教育が必要なのです。そして遊びのスタイルが変わってきたなかで、ゲームセンターは「コミュニケーションの場」となるべきだと思います。ゲーム機の欠点を補うためにもね。

ゲーム機の欠点とは?

井出 自販機と同じ、温もりのなさはです。我々が子供の頃は、例えばメロンに夢中になるといふように、人間同士の遊びが主流。しかし、今の子供たちの遊びの代表格となっている家庭用ビデオゲームも含め、ゲーム機には人間同士の対話がないです。だから私は常に店舗スタッフに「お客様に声をかけろ」「人間対人間で店舗を特徴づけろ」と指導しています。

また、普段からコミュニケーションをとっていれば、何かあった時、一歩も二歩も踏み込んだ注意ができます。実際に以前お子さんが一万円札の両替に来たことがありまして、さりげなく

尋ねると「拾った」という答えが返ってきた。だから「警察に行けば一割もらえるよ」と普段の調子で話して帰しました。すると翌日、そのお父さんの母親がわざわざお礼にいらつしたんです。一万円は母親の財布から取ったものだったそうです。

井出 この業界に入ったきっかけは? 大学の頃、これからは週休2日制の時代が来る」と考えまして余暇産業に着目、それで最初はスポーツ用品卸の会社に就職しました。コンピュータが発達して人間が頭でっかちにならないようスポーツは必要不可欠なものだと思っただけです。1年8ヶ月でその会社は退職しました。余暇産業という同じ流れでアルバイトを始めたのが(当時東横線)の田舎(長野県佐久市)に帰って独立して一号口を出したのが昭和46年7月です。

一号店の特徴は?

井出 長野県初のSOCとしてオープンした「中央名店」(現・COMET)の3Fの38坪+屋上のアーチアリーナ、設置したのはキティライド、フリッパー、スカイライダーなどで、投資額は当時で1,000万円位。そのうち内装費は38万円でしたから、いかに機械代が高かったかわかりますよね。それでスペースを埋めるために卓球台も置いてたりして(笑)。この年11月には、南佐久郡のSOC「サンマルコ」に2号店を出店。アーチアリーナ55坪、ゲームコ

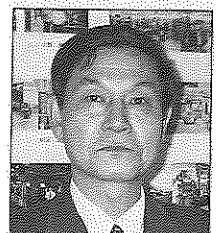
ーナ15坪の屋内ロケで、現在は200坪に拡張し先の全国大会で優良店舗として表彰していただいております。2号店は「これから体を動かす時代」とのコンセプトで、腕相撲、モグラ叩き、エアホッケーの他、今は懐かしい「モンテカルロボウラー」「チューハンター」といった機種も設置しました。ちなみに、アーチアリーナはスポーツ屋時代に始めたもので、現在も地元のアリーナ協会の会長をつとめています。

井出 今あればレトロコーナーができるような機種が色々設置されてたんですね。

井出 「モンテカルロボウラー」は、つい最近まで稼働してましたよ。当時のフリッパーだって30台位ある。30年前の古いものとはいえ、使えるし、苦学して買った物だから愛着がある。消費大国になって日本は物を大切にすることを忘れてしまったようですが、これからはそれを見直す時期だと思えます。そんな精神は、豊かな心を持った青少年の育成にも関係するのではないのでしょうか。

現在の店舗数は?

井出 シングルロケを除き4店舗。ホテルの1Fのロケが1店舗、他はSOCロケです。以前はもっとありましたが、長野オリンピック以来この地域も大きく変貌し、大型SOC、パワーセンター等の出店で既存のSOC本体が閉館するといったことが続きまして、大型店に大手がSOCロケを



長野県アミューズメント施設営業協会
井出 邦明 会長(53)
南佐久郡佐々木町
代表取締役

出店する状況のなか、より魅力あるロケづくりに向け努力していきたいですね。

井出 「具体的には?」

井出 「モンテカルロボウラー」を撤去したと言いましたが、それは「ボールプール」を設置するためです。上手でない方はすぐに終わってしまうゲームとは違い、ボールプールはゆつくり安価にお楽しみいただけます。ファミリールームの滞留時間を延ばす施設をプラスすることはこれからは不可欠でしょう。また、イベントの強化。現状でもSOCのホールをお借りしてウルトラマンショーを実施したり、ピンゴ大会、綿菓子サバイブ(フリックをやってたら無料など)等を行ってきましたが、もともとがスポーツ屋ですから、体を動かすイベント、例えばフワフワ遊具や輪投げなどを今後は積極的に取り入れていくつもりです。

要は、アミューズメント施設は「弁当のおかず」という認識を持つこと。ご飯は飽きないけれど、おかずは毎回毎回変えなければならぬ。だから知恵を出す。そして何より、「明るい雰囲気、笑顔清潔な店内で故障なし」。基本に戻ることを忘れてはいけませんよね。

井出 夢は?

井出 アミューズメントは「喜びを与える」商売。レトロな機械を活用して「ゲーム博物館」をつくれれば、と思っています。

北海道

日時／11月11日(木) 午前10時

午後4時30分

場所／札幌ロイヤルホテル

参加者／73名

主催者として北海道地区協議会の田中亀雄会長、来賓としてAOUの谷本専務理事がそれぞれ挨拶した後、店舗管理者研修会実行委員長の菅原正良氏が開会宣言、講義に移った。

午前中は、北海道警察本部生活安全全部企画課指導担当課長補佐の坂井英文氏、同少年課非行

対策担当課長補佐の佐藤邦昭氏、(財)北海道防犯団体連合会北海道風俗環境浄化協会専任講師の伊藤稔氏がそれぞれ25分ずつ講話および質疑応答。

午後は、「青少年指導員養成講座」を受講した北野順二氏(株)マキシム北海道、前田達哉氏(株)ダイワ貿易、上野豪紀氏(株)スガイ・エンタテインメント)の3氏が講座の内容を報告。来賓の畑晴夫研修副委員長の話は喜んで、次の2つの講演がおよそ1時間ずつ行われた。「店舗運営の基本」と「プロ

アー業務のプロとは」(講師(株)シグマ営業企画部教育グループ グループマネージャー 伊藤眞氏)

「プロ野球から見る人材育成」(講師 元プロ野球選手、現(株)ヤクルト本社営業推進部組織販売課担当課長 杉浦亨氏) 4時10分から田中会長による修了証書授与および優良店舗表彰。地区協議会の藤直樹副会長の閉会宣言で閉会となった。

COLUMN

突然の停電でお手上げ、電気がなければ何もできぬ

珍しく、停電があった。知人と昼食をとって戻る途中、コンビニに寄っている間に突然、電気が消えたのである。最初はその店だけだと思ったのだが、外に出ると様子がおかしい。若い警官が一人、近所の人と話をしている。

この辺り一帯が消えたんですか、と尋ねると、道の向こうもそうなんです、どうしたんでしょうかと、不安そうである。(空自機の墜落が原因の大停電であった)

私が子供の頃、停電は別に珍しくはなかった。電気が消えると蠟燭に火を灯して、回復するのを待っていた。それ

ほどの不自由は感じていなかった。仕事場に戻ると、そこも停電の区域に入っていた。日当たりが悪いので、室内は暗闇に近い。留守電の記録を見ようとしたら、当然のことながらデータの表示が見えないのである。二台あるワープロも起動しない。

そのうちの一台は、途中で電気を切ると、それまでの文字は失われてしまう。虫の知らせとでもいうのか、出かける前に書いた文章はフロッピーに保存していた。もう一台は電源を切っても画面にある文章は残るのだが、これを買

(N)

「少年非行防止に向けた川崎市民総決起集会」に神奈川県協が後援

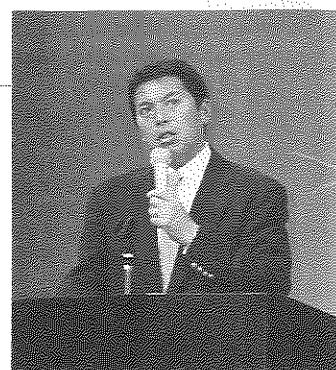
11月16日午後1時30分～3時

15分、神奈川県川崎市の高津市民館・大ホールで行われた「少年非行防止に向けた川崎市民総決起集会」に、神奈川県アミューズメント施設営業者協会(村山嘉男会長)が後援として名を連ねた。

同集会は、青少年関係機関・団体等と行政、市民が一体となり、神奈川県警察と協力して青少年の非行を防止し、健全な育成環境づくりを目指すという開催されたもの。主催者挨拶、来賓代表挨拶に続き、主催者および

来賓の紹介が行われ、その後、少年非行の現状報告、元プロ野球選手でタレントのパンチ佐藤氏(川崎出身)の講演が盛り込まれ、最後に、「集会宣言」が会場に集まった人々の拍手で確認され、閉会となった。会場の収容人数(700名)を上回り、立ったままの参加者が多く見られるほど盛況。

なお、少年非行の現状について神奈川県警察少年相談・保護センター相談員は「特徴は、①



▲タレントのパンチ佐藤氏の講演は好評だった。

少年非行防止に向けた川崎市民総決起集会



〈主催〉川崎市、川崎市教育委員会、川崎市青少年の健全な育成環境推進協議会、川崎市防犯協会連合会、川崎地区少年補導員連絡協議会
〈後援〉川崎市PTA連絡協議会、川崎市青少年育成連盟、川崎市青少年指導員連絡協議会、川崎市学校警察連絡協議会、神奈川県アミューズメント施設営業者協会、神奈川県警察本部

また、「僕の野球人生と青少年」と題されたパンチ佐藤氏の講演では、貧しかった少年時代を振り返りながら、夢や目標を持つことの大切さ、出会いの大切さなどがユーモアたっぷりに語られ、「監督が変わるとチームが変わる。即ち、親が変われば子が変わる」

「かけられる言葉でヤル気にもなれば、逆にヤル気をなくすこともある。それほど『言葉』は大切」といった青少年育成に関する数々の指摘も参加者の共感を得、好評だった。

神奈川県

神奈川県アミューズメント施設営業者協会
(村山嘉男会長)
障害者スポーツ文化センターにゲームの出前

横浜市港北区の障害者スポーツ文化センター「横浜ラポール」に11月23日、ゲーム機17台を出前。入場者は500～600名で、常時満室という盛況ぶりに、午前10時～午後3時の開場時間を30分延長した。

設置したのは、シール機や、ドリームキャッチャー等クレーン機、ビートマニア、ドライブゲーム、シューティング、ビデオゲームなど。クレーンゲームは昨年の反省を踏まえ、油圧のパワーリフトを備えて車椅子に対応。「まさか自分が写真シールをとれる」と感激する初老の男性をはじめ、多くの来場者に好評だった。また、重度小児麻痺の障害者が両足でドライブゲームのハンドルを操作したり(アクセルはスタッフが担当)、車椅子を上手に操りながらUFOキャッチャーを足で操作して自力で景品を取ったりする姿も見られ、「(健常者と)同じもので遊べたかったんだ」等、会場には嬉しそうな笑顔が溢れた。

スタッフはAOUの名前入りのオレンジのジャンパーを着用。派手なその姿が目立って良いと好評で、「ジャンパーを着ている人に頼んだら、すぐ隣に座ってやってくれてとても良かった」「車椅子の60歳位の男性にドライブゲームを勧めたら、やたら車に詳しく、手伝ってくれた若いお兄さんがずっと話し相手になってくれていて、それもキチンとしゃがんで目の高さを合わせて1時間位話し込んでいた姿には涙がでました」(職員)という意見も。帰りには、言語に障害がある電動イスの30代の男性が、足で50音ボタンを押して「おもしろかった」とスタッフに伝える場面もあった。



静岡県

静岡県アミューズメント協会
(星谷清重会長)
養護施設に移動遊園地を出前

11月23日午前11時～午後2時、三島市の養護施設「恵明学園」に移動遊園地を展開した。設置したのは、フアファ遊具、キティライド、綿菓子機、ゲーム機20台。

50数名の子供達が体全体で楽しんだ。その間、協会スタッフがアンパンマンの着ぐるみを着て、アンパンマンのテーマ曲をBGMにジュースやお菓子を子供達に手渡し、それも非常に好評。

施設の職員のひとり「普段ゲームセンターには行けないので子供達は本当に喜んでいる。私達も今日が来るのをとても楽しみにしていた」と語っていた。



近畿地区

近畿地区協議会
(川楠俊太郎会長)
三角クジで、オリジナルグッズプレゼント

11月21～23日の3日間、店内のすべての人に三角くじを無料で配布。当選者に、オリジナル・クオカード(A賞)、オリジナル・ストラップ(B賞)、店舗独自商品(C賞)をプレゼントした。なお、三角くじの配布時間は、店内ポスターで予め告知した。

三角くじは1セット当たり1万円で、イベント参加店舗が購入するかたち。はすれ三角くじ300枚、当選三角くじ62枚、賞品(クオカード4枚、ストラップ8本)、抽選箱、のぼり1枚が1セット。用意された150セットが販売された。

第5回「ゲームの日」
全国のイベントREPORT

北海道

北海道アミューズメント施設営業者協会
(田中竜雄会長)
老人ホームにゲームの出前など

軽費老人ホーム・ケアハウス「ホワイトキャッスル」(札幌市)において、11月23日午前10時～午後4時、計13台のゲーム機を設置、およそ40名の高齢者がゲームを楽しんだ。出前したマシンは、シール機2台、ビデオゲーム3台、UFOキャッチャー1台、スウィートランド1台、スウィートランド1台、パチンコ機5台、カニカニパニック1台。午後からはビンゴ大会も実施した。

家庭用ゲーム機プレゼント

〈アンケートに答えて「プレステ2」をゲットしよう!〉とのキャッチフレーズで、AOU「ゲームの日」実行委員会のアンケート回答者に対し、予め北海道地区協議会としても11月26日抽選を行い、5名に家庭用ゲーム機をプレゼントした(プレステーション2を1台、プレステーション2台、任天堂64を1台、ドリームキャスト1台。当選者名は各店舗に掲示)。

栃木県

栃木県アミューズメント施設営業者協会
(入江昭道会長)
3カ所の障害者施設にゲーム機を寄贈

足利こころみ学園(足利市、入所者数80～100名)、鹿沼希望の家(鹿沼市、150人)、黒磯太陽の里(黒磯市、50～80名)の計3カ所の施設に、11月23日、各3台ずつのゲーム機を寄贈した。

ゲーム機は会員から中古機を募るかたちで集めた。「操作が簡単で、楽しいものを」と、ドライブゲームやモグラ叩きなどが中心。そんな配慮は、「入所者が楽しめるゲームで大変ありがたい」と、寄贈した施設の責任者に喜ばれた。

東京都

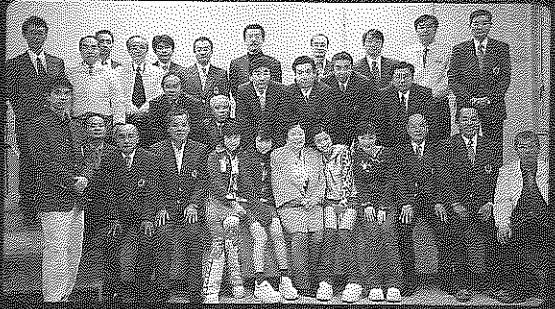
東京都アミューズメント施設営業者協会
(真鍋勝紀会長)
浅草「花やしき」に9つの養護施設の子供たちを招待

11月23日午前10時30分～午後3時、都内の9つの養護施設の子供達および付き添い職員計200名を浅草「花やしき」に招待した。同園を舞台に「アミューズメントふれあいフェスティバル」と銘打って障害者や養護施設の子供たちを招待するこのイベントは、今回で4回目。例年同様に、入場時にフリーバンドをつけて乗物乗り放題とした他、園内で使用できる2000円分の買物券(売店やゲームなど全てに使用可)、昼食、帰りにはおみやげをプレゼントした。

午前11時からの開場式で、TAMOAの永井副会長、花やしきの高井園長に続き、招待客代表としてステージに立った東京家政学校の引率者・松田氏は「花やしきには初めて来たが、子供たちが『ディズニーランドより行きたい!』と言う気持ちがよくわかった。小さい子供から大人までが楽しめる乗物が凝縮されていて、環境もいい。子供達は今日を何より楽しみにしていた。招待していただいたことを心から感謝している」と語り、次に松田氏のかけ声に合わせて子供達全員が「よろしくお願いします」と元気な声で挨拶した。

なお、当日は「ゲームの日」のイメージキャラクター「Z-1」が訪れ、ライブショーを実施。招待客が帰る際には、ひとりひとりに握手して見送った。

(下の写真は、園長と「Z-1」を囲むTAMOAスタッフ)



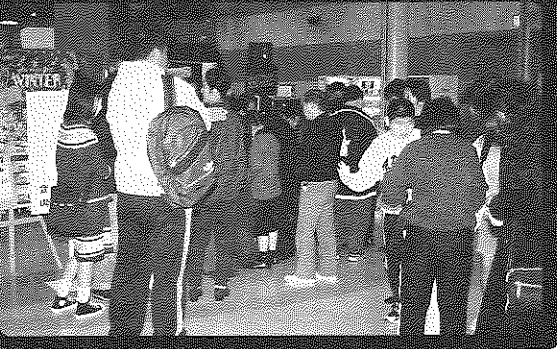
福岡県

福岡県アミューズメント施設営業者協会

(長友隆典会長)

「第2回障害者ふれあいアミューズメント・フェスティバル」

筑紫野市のSC「ゆめタウン」内のロケ「ワンダーパーク筑紫野」に、スペシャルオリンピックス日本・福岡支部から知的障害者およびつきそい約150名を招待、11月23日の午前8時～11時30分、貸切り無料開放した。同ロケはゲームコーナーの他、26レーンのボウリング場もある広さ。昨年「福岡ジョイボリス」で実施した「第1回障害者ふれあいアミューズメント・フェスティバル」に続き2回目となったが、今回も大好評で、「ありがとう。また来年もお願いします」と多くの来場者が異口同音に挨拶しつつ、笑顔で会場を後にした。



大分県

大分県アミューズメント施設営業者協会

(宮永繁会長)

「城島後楽園ゆうえんち」に養護施設の子供達を招待

11月13日午前10時～午後2時30分、4つの養護施設の子供達を別府市内の遊園地「城島後楽園ゆうえんち」に招待した。青松園(大分市)、清浄園(中津市)、聖ヨゼフ(中津市)、鷹巣学園(玖珠郡玖珠町)の計131名。遊戯施設全機種フリーパスに加え、園内の2ロケーション(セガ・エンタープライゼス、開世通商が運営)の協力を受けゲームの無料サービス券を配布(プリント機1回&プライズ機およびカーニバル機12回&テレビゲーム10回&メダル100枚)。その他、送迎バス運行をはじめ、昼食、帰路の車内のお菓子等も準備した。

今年で3回目。2つの養護施設を招待した第1回目から、2回目は3施設、そして今年は4施設と年々規模を拡大してきている。また、昨年は遊戯施設に関し3機種が無料という形で園側の協力を得ていたが、回を重ねた今年は同園総支配人の自発的な好意で全機種が何度でも乗り放題になるなど、子供達にとってより充実した内容となった。

当日の様子は地元新聞にもとりあげられ、協会では「準備が忙しく、また、予算的にも大変だが、ゲームに乗物に食事にうれしそうな顔、真剣にゲームに乗物に興ずる姿を見ると、また来年もやるか!という気になった」としている。



鹿児島県

鹿児島県アミューズメント施設営業者協会

(黒葛勝行会長)

障害児福祉施設にゲームと遊びを出前、大学の学園祭にも協力

11月21日、障害児福祉施設「やまばと学園」の秋祭りに、シール機2台を設置して無料開放、「ヨーヨーつり」などの出店(無料)やお楽しみ抽選会(ぬいぐるみ、キーチェーンなど400～500個を提供)なども行った。

シール機は車椅子が対応可能なように、スロープで上る台を作成。会長他5名の会員が、ボランティアや保護者の方々とともに利用者をサポートし、「生まれてはじめての」写真シールづくりをお手伝いした。

また、翌22日は鹿児島県経済大学の学園祭に「DDR」1台を無料開放してイベントを盛り上げた。

広島県

広島県アミューズメント施設営業者協会

(平本将人会長)

老人福祉センターにゲーム機を出前

「国際高齢者年」である今年は、11月26日午前11時～午後3時30分、〈生涯青春 アミューズメント・ラブ・エイド〉と銘打って、広島市中央老人福祉センターにゲーム機20台(電車でGO、スウィートランド、イライラ棒、エアホッケー、プリント機など)を設置した。

参加したのは、同センター利用者約280名。当初予想の100名(センター利用者の3分の1)を大きく上回った。ゲーム機はいずれも常時フル稼働という盛況ぶり。最初は戸惑い気味だった参加者も、協会スタッフ(21名)から遊び方をレクチャーされるうちに次第に上達、熱中しはじめた。また、ぬいぐるみ等の景品を大型段ボール7ケース分持参したが、これも半数は残るだろうとの予想に反して陳列1時間後には全てなくなるという人気だった。

同センターの所長、事務局長の両氏は、「ここに勤務して1年半から2年になるが、今日のような笑いを聞いたのは初めて。年寄りの健康は笑が一番」とコメント。当日の様子は中国新聞、産経新聞が取り上げた他、テレビ局4社が午後5時～7時の間のニュースとして放映した(特に、新広島テレビは「ゲームセンターが高齢者施設に出張」と新聞のテレビ欄に掲載するほど注目)。



山口県

山口県アミューズメント施設営業者協会

(萩田雅重会長)

養護施設2カ所にぬいぐるみ等を寄贈

清光園(吉敷郡阿知須町)、陽光園(小野田市)の2カ所の養護施設にぬいぐるみ等を寄贈。正副会長2名が、19日に陽光園、24日に清光園を訪れた。

会員各社からの提供。およそ250個を2カ所に分けたが、小中学生の子供たちに特に好評だった。

香川県

香川県アミューズメント施設営業者協会

(神原研志会長)

各店舗に無料開放ゲーム機を設置

11月23日、協会加盟の各店舗においてプレイ代無料のゲーム機(1台以上)を設置した。

無料開放ゲーム機には「ゲームの日」を示すポスターを貼り、「ゲームの日」をアピール。無料ゲーム機の成果で、女性客やファミリー客が通常の営業時より数多く集まり、プレイを楽しんでいた。

長崎県

長崎県アミューズメント施設営業者協会

(島田武会長)

児童福祉施設にぬいぐるみを寄贈

長崎市福祉保健部を通じて児童福祉施設にぬいぐるみ等を寄贈した。

会員に協力を呼びかけ、提供されたのはぬいぐるみ363個をはじめ、おもちゃ50個、腕時計20個、色鉛筆300本、アルカリ電池単3100個。島田会長が11月22日、市役所を訪れ、それらの目録を収入役に手渡したこの様子は地元新聞にも報道された。また、長崎市から協会に対し、感謝状と記念品が贈られた。

なお、協会の協賛というかたちで、タイトーが高齢者にゲームの楽しさをアピールすべく同社ロケに老人クラブの人々を招待。孫と一緒に参加する姿も多く見られ、思い思いにゲームを満喫した。

MAP 栃木県 (今市市内より北東へ約2km。国道461号線沿いの複合商業エリア「センショープラザ」内)

セガ・エンタープライゼス経営
小野克彦店長

「セガのお店創り」で「セガのお客様」の創客を! が基本コンセプト。スタッフは全員が地元出身で、お客様に気軽に声をかけていただける接客をするよう心がける。

イベントとしては、日曜・祝日の午後4時より必ず実施しているビンゴ大会が好評。70~80名の参加者を毎回集めているが、今後も更にグレードアップした内容でより多くの参加を呼びかける考え。

不況下にも関わらずお金を払っていただくお客様に対して感謝の気持ちを忘れず、また、遊びを提供する側として信用を第一に日々の運営にあたる。

今市市在住のお客様に本来セガにしかできない「セガワールド」とはこういうものです、と言えるような店舗づくりが目標。



セガワールド今市

模範優良店が語る「当店の特徴・店自慢」!! ~優良店から店舗運営のヒントを探ろう~ 〈第2回〉

平成11年度の模範優良店が決まり、先のAOU全国大会で表彰された(詳細は前号)。AOUニュースではその90店舗についてアンケートを実施、「優良店」ならではの特徴や店自慢を聞いた。「他店には負けない」工夫等について各店舗からの回答が次々に寄せられているが、この連載ではそれらの「声」を順に紹介していく。

MAP 神奈川県 (横浜市港南区の複合ビル1階)

タイトー経営
池田和司店長

スタッフ一同の合い言葉は「地道な努力」。サラリーマン層が主流の60坪程度のロケで、主に次のような細かな配慮を行っている。

○売上げの主となっているプライズ機の商品は、同一キャラクター同士で2個セット、あるいはキーホルダー用の福袋など、限度額を超えない範囲で独自のアソートを製作・展開。

○ビデオゲームにおいてはカードシステムを導入、500円と1000円の2種類を販売。

○メダルはタイムサービスにより単価を変更。通常1枚20円をサービス時には10円にしている。

○スタンプカードを採用。カード会員のお客様には来店時にスタンプを1つ捺印し、5個、10個、20個たまるときに特典を用意(なお、カード発行時に住所、氏名、年齢を記録しているため、ダイレクトメールを送ったり、風営法の年齢チェックに使用したりと様々な利用している)。



タイトーイン
アミューズメントクラブ D3

MAP 秋田県 (秋田市のロードサイド)

ナムコ経営
小林運史店長

ストアコンセプトの1つは「スタッフとの触れ合いが記憶に残る店」。ゲーム機で遊んでいたことだけを考えるのではなく、アミューズメント施設のアメニティを模索しながら、お客様ひとりひとりとより楽しく、より価値のある店舗づくりを心がける。具体的には主に次のような配慮があげられる。

○お客様への挨拶やアナウンスの強化で、「生身の人間の声」が聞こえる環境づくり。また、イタズラをしがちな小中学生は見逃さず「会話を注意」をする。

○景品機はお客様の満足度の度合いが異なり運営が難しいため、スタッフが「遊び方指南」や「景品位置の直し」等アプローチをする。

○メダルコーナーに関しては、カウンターでの貸し出し時に、ご利用のお客様とスタッフとの「1対1」のミニゲームを実施。また、定期的なマイクパフォーマンスも。

○ビデオコーナーは一人で来店のお客様が多いため、ゲーム大会の開催をはじめ、ビデオゲームに関する質問等に極力詳しく回答できるようにスタッフが常に勉強。



ブラボ秋田店

ナムコワンダーシティ
ブラボ鶴見店

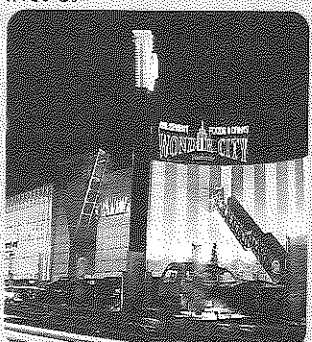
MAP 神奈川県 (都内と川崎、横浜を結ぶ国道1号線と鶴見川の交差する位置にあるロードサイド)

ナムコ経営
蓮合 真店長

「商品はゲーム機だけでなく、スタッフ自身がエンターテイナーであって欲しい」というのが一番の思い。デニーズ、イタリアントマトとの複合施設でもあるため、ゲームにはまったく興味のないお客様も来店。そのためスタッフはお客様の「楽しみたい!」気持ちを満足させるべく、「フレンドリー&ホスピタリティ」をモットーに接客やイベントに力を入れている。

スタッフ教育については、イベント提案からルールづくりに至るまで、「ボジティブ」に思考し「自発的」に挑戦できるような体制づくりを心がける。実際に、例えばユニフォームは、新入社員と準社員の女性がデザインから業者交渉、社内票議のためのプレゼンを行い採用されたものである。

なお、夏は鶴見区の花火大会が近場で楽しめる絶景ポイントとして立体駐車場の一部を開放、ビアガーデンを地域のお客様に楽しんでもいただいている。いずれにしても、同店はナムコの一番店。所在地も比較的便利であることから同業他社がよく視察に訪れることもあり、常に緊張を保持し、現場で出来ることについては最大限の努力を続けている。「すべてはお客様のために...」。



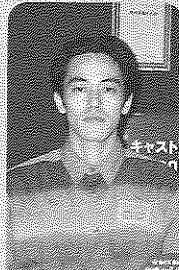
セガワールド古川

MAP 宮城県 (古川市の国道4号線バイパス沿い)

セガ・エンタープライゼス経営
吉田聖崇店長

ズバリ、「他店より少ないお金で長時間遊べる店舗」をテーマに営業。例えばイベントでは、まったくお金を使わずに遊べる日(女性限定)などを日替わりで実施している。1階120坪、2階90坪の計210坪、「イエローハット古川店」「TSUTAYAバイパス店」に隣接し、客層はファミリー、カップル主体となっている。

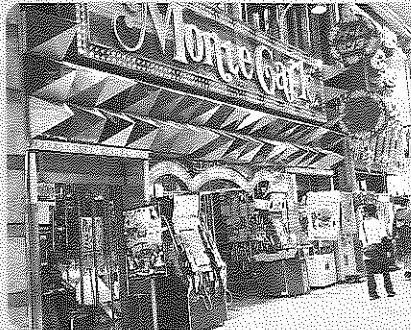
自信があるのは、メダルゲームコーナーの充実。市内でナンバー1を自負しており、メダルゲームが好きなお客様も、また初めて触れる方もお楽しみいただけるようになっている。



大阪府 (JR大阪駅、地下鉄・阪急・阪神の梅田駅より徒歩5分。繁華街の中心地)

純情モンテカルロ経営
新居健司店長

誰でも楽しめるよう全ての台が低価格設定。スタッフは全員、メンテナンスができるよう指導されている。1F、B1の2フロア(約110坪)構成で、各コーナーの特徴は次の通り。
[メダル(B1)] マスメダル機4台、シングルメダル機12台。サービス期間としてメダル価値1000円で150枚実施中。
[プレイス(B1)] あらかると用器品を中心に女性向けのファッション系、男性向けのマニアック系と幅広い展開。
[ビデオ(1F)] 新製品はとりあえず入荷。
[大型筐体(1F)] 音楽ゲーム中心。他にガンシューティングやシミュレーター。



純情モンテカルロ

BACK HALL

山梨県(国道20号線沿いのロードサイド、甲府市のSC「グランパーク」本館3F)

㈱大統経営
伊藤公仁店長

人々がくつろげる時間、ココロが開放されるひとときの環境空間を提供することに心がける同店のテーマは、「新しいコミュニケーションスタイルの創造」。クリスマス、ハロウィン、アニバーサリーなどには、スタッフが「手作りの衣装」を着てお客様と一緒にゲームし、写真を撮って楽しんでいる。この際の写真は後日、掲示板に貼りだして無料で差し上げており、リピーターにも好評。

店舗内は「清掃第一」主義。常にマシンは新品同様の輝きを保っているが、これについてはメンテナンス表にて故障・清掃状況が一目でわかる管理をしている。機種構成に関しては特に景品に力を入れ、豊富な種類でお客様を飽きさせない自信あり。
最も力を入れているのはスタッフ教育。アルバイトには5段階のレベルにあった指導をし、当然、時給の差をつける、という方式をとっている。



岡山県(瀬戸自動車道水島ICより国道430号線を水島方面へ車で約15分。倉敷市内のクラスター店舗＝駐車場を同一にした複合商業施設「遊タウン」内)

㈱ナムコ経営
飯島健史店長

日替わりイベントから日祝日イベント等様々なイベントに力を入れている。例えば、日替わりイベントは「機械のお得な設定」など、日祝日イベントは「着ぐるみ撮影会」など。なかでも、着ぐるみ着用のスタッフがお客様と一緒に記念写真を撮り、後日写真をプレゼントするイベントは毎回好評で、そのためだけに来店される方もいる。また、オープン一周年記念には店頭にて「ミニ祭り」を出し、金魚すくいやクジ引き等を行った。8年のオープンからまだ1年余りだが、色々なアイデアをひねり出し、お客様に喜んでいただけるより良い店舗をつくるため、スタッフが尽力している。

メーカー直営であるため、岡山地区では「ナムコ数数」一番。ナムコ製品&景品のファンを満足させる自信あり。



NAMCO LAND水島店

愛知県(名古屋市の大型SC「ポートモールアビタ港店」3F)

サンミュージメント㈱経営
小松義明店長

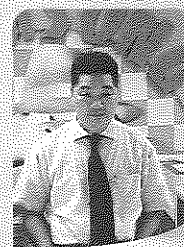
客層は、ニューファミリー、小中学生、高校生。それらの層をはじめ、お客様の立場に立ったイベント、サービスを心がける。例えば次のようなことを行っている。
○土日祝日のイベントとしてパルンラッピングサービスを実施。3～4倍の売上げをあげている。

○携帯電話全面ドレスアップシール「テレマジック」のイベントもお客様に大好評。これは全面塗装と変わらないドレスアップができる全面貼りの携帯シールで、デザインも1000種以上が用意されているもの。3時間待ちでも構わないというお客様もあり、終了後も問い合わせがあった。

○ブリクラの用紙は普通の白い用紙だけでなく、透明シール、プリズムシールなども使用。

○メダルを一度預けたお客様の顔と名前を覚える。そして次の来店の際、お客様から名前を言われる前に、こちらから名前をお呼びするようにしている。

○通常100～500円分の貸出が多いメダルに関しては、2000円分の貸出時にスピードくじをつけており、それによって50～500枚のメダルをサービス。(これにより、売上げが以前よりアップした。)



サムソン港店

アミューズGamGam

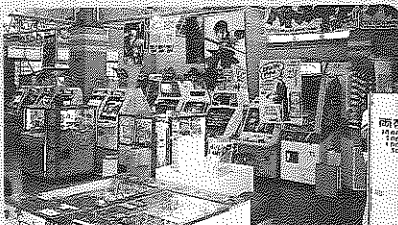
香川県(JR宇多津駅から車で西に約5分。丸亀市内のボウリング場「丸亀スターボウル」内)

㈱ゼムス経営
金井真也店長

モットーは「親しみやすく、お子さんでも安心して遊べる店づくり」。お客様からアンケート等をとることによって、お客様の意見を店舗づくりに反映させている。

実施しているイベントとしては、音楽ゲームのタイムサービスの他、ボウリング場内のロケということもあり、ボウリングのスコア保持者の方にメダル20枚のサービスをしている。メダルについてはこれに加え、ビジネスマンデー、レディースデー、お人形さん企画等も。また、定期的にポスターサービスを行い、ゲームのポスターを無料でプレゼントし、好評。お客様に楽しい情報を提供するためPOPに力を入れていることも自慢の1つとなっている。

スタッフが常に心がけているのは、お客様とのコミュニケーションを大切にすること。接客・清掃に関しては「地域一番店」を目指す。なお、そのため同店では、接客コンクール、マイクワークコンテスト、演出力コンテストを実施し、店舗レベルの向上に努めている。



大阪府(JR天王寺駅近く。路面電車・阪急電鉄が走る大通りに面した3階建てビル1階)

㈱アスモ経営
菊地政行店長

1ヶ月に2～3回、近くの店舗と共同でゲーム大会を実施。その結果は「新聞」としてデカデカと報告、また次回大会に向けてインターネットやEメール等で告知するといったことも行っている。

気をつけている点は、機械の清掃と調整。特にテレビゲームのレバーとボタン等の調整には重点を置いている。目標は「通常よりも歩み近いお店(良い意味で)」。スタッフは、常に「自分がお客様として来店した場合、本当にこれで納得するか?」ということを考えて行動するようにしている。

ビル内に本屋、パチンコ屋、英会話教室があり、平日でも賑わう。昼間は中高生、夜は専門・大学生、サラリーマンという客層で、付近に学校があるため女子高生も多い。



現場からの声

第8回

「PLABO上石田店」(山梨県)
浅沼誠店長(26歳) (株)ナムコ

ゲームセンターに従事して7年。店長になってまだ間もない私ですが、ゲーム機の力ではなく、スタッフの「接客レベルの高さ」や、「お客様に楽しんでいただくとする姿勢」によって、ご来店いただける店舗にしたいと思っています。お帰りの際、「楽しかった」「おもしろかった」と言っていた店が私の理想とする店舗です。

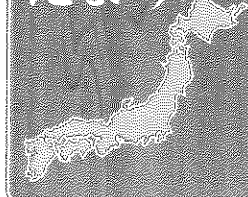
周知のように、現在、類似ゲームに対する訴訟やメーカー同士の係争が起こっています。しかし、若輩ながら敢えて一言モノを申せば、良いモノは真似される宿命にあるのでは?と私は考えます。大切なことは、類似している、していない、と争うことではないと思うのです。それよりメーカーには、もっとお客様の立場に立って、「より良いゲーム、よりユーザーに楽しんでいただけるゲームをつくること」を争って欲しいですね。一個人の考えで恐縮ですが、最近発売されるゲームは、マニアックすぎるか、一般ウケを狙いすぎ、ゲーム性が欠けているように感じられます。

それから「これだけは言いたい!」こと。AOUの一員として、各ゲームセンターには風営法をしっかりと守った営業を徹底して欲しいですね。目先の利益に惑わされず、景品価格の上限や景品の内容などを守る。また、景品の一般市場への流出もさせないようにする。守れないものに対してAOUとして罰則を与えるくらいの覚悟であたるべきだと思います。

-14-



〒101-0041

東京都千代田区神田須田町1-4-1 TSI須田町ビル6F
AOU広報委員会 AOUニュース編集部各地協会の
だより香川 理事会
11月5日

香川県アミューズメント施設
営業者協会(神原研志会長)は
11月5日、理事会を開催した
(高松テルサ、午後1時~2時、
出席4名)。主な内容は次の通り。
◎「ゲームの日」について(イ
ベントの確認。また、イベント
グッズとして携帯ストラップを
協会から各会員に配布すること
とした)
◎香川岡山交流会について(11

月24日に実施。ゴルフ&懇親会)
◎AOU全国大会報告
◎第4回店舗管理者研修会決算
報告
東京 通常総会
11月16日
◎東京都アミューズメント施設
営業者協会(真鍋勝紀会長)は
11月16日、第11期通常総会を開
催した(スクワール麹町、12時
30分~2時、出席28社、委任状
27社)。主な議案は次の通り。
◎第11期事業報告および収支決
算報告(承認)
◎第12期事業計画案および収支
予算案(承認)
また、総会終了後、次の事項
について討議した。
◎会員拡充について
◎消費税対応策について

◎新しいサービスの考案につい
て(店舗運営上のシステムを変
えていかなければ消費の多様化
から取り残されてしまうとの考
えの下、TAMOA活性化委員
会の中で、若手グループによる
討議を重ねていくこととした)
野球リーグスタート
◎若年層の会員の相互交流と親
睦を図る目的で、平成12年3月
~11月、野球大会を開催するこ
とが決まった。呼称は「TAM
OA BASEBALL LEAGUE(TBL)」。正式開催を前
に、まず有志10社でトーナメン
トによる前哨戦を実施すること
とし、11月20日、その初戦が行
われた(江戸川区篠崎公園グラ
ウンド、エイブル対カブコンでカ
ブコンが2回戦に進出)。

本格派シミュレーションの最新作

LANDING HIGH JAPAN

ランディングハイジャパン

実機のハイテクジャンボ
5機種をCGでリアルに再現。

実在の6空港を使用し
臨場感あふれる
フライトを実現。



「液晶のサブモニター」を使用して
実機さながらの操作を実現。

「オートマチックモード」や
「HELP」ボタンが
幅広い客層をキャッチ。



株式会社タイトー®

〒102-8648 東京都千代田区平河町2-5-3 © TAITO CORP.1999